

科目名	障害者福祉研究 [院]					単位	2.0
担当教員	加藤 孝正						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	4682

●授業のテーマ

現代の障害児・者の医療・教育・福祉

●到達目標

障害者の基本的人権の理解と、それを地域生活の中でどのように実現していくかについての支援のあり方を考察し、実践への道づけを知る。

●学習内容(授業概要)

国連・障害者の10年(1983~1992年)以降の展開は、障害者問題に関して社会的関心を大きく喚起した。現代の急激な社会経済的変動により障害者問題も多様化して、それら諸課題に対応する障害者医療・教育・福祉の理論的、実践的研究の一層の確立が求められる。

本講では現代の障害者医療・教育・福祉に関する主要な概念や思想の展開、障害者問題の実態、障害者福祉に関して特にその制度・サービス体系と課題といった理論と実態をとりあげる。

また、現代的に障害者の人権保障のリアリティー化、生活主体者としての自立生活が重視される中、地域生活における障害者の医療・教育・福祉のあり方をとりあげる。

●学習内容(授業計画)

1. 障害者福祉の基本的理念
2. 障害児・者の自己決定権
3. 障害者の権利条約と権利擁護 (1) 一般原則と義務、インクルージョンについて
4. 障害者の権利条約と権利擁護 (2) 家庭、教育、健康、リハビリテーション、文化的活動等について
5. 施設ケアサービスと家族支援 (1) 施設と家族との関係について
6. 施設ケアサービスと家族支援 (2) 幼児期、学齢期、青年・成人期の利用者と家族支援のあり方
7. 就業的自立と雇用・訓練対策 (1) 就労・雇用の基本的あり方
8. 就業的自立と雇用・訓練対策 (2) 就労・雇用へつなげる具体的方策
9. 障害者の地域生活への支援 (1) 障害をもつ利用者の地域生活の課題
10. 障害者の地域生活への支援 (2) 地域生活の課題解決へ向けて
11. 障害者の地域生活への支援 (3) 具体的事例とその検討
12. 障害者の医療保障 (1) 現在の医療と保護
13. 障害者の医療保障 (2) 権利としての医療保護
14. 障害者の経済保障
15. 障害者福祉の課題まとめ

●準備学習・事後学習の内容

ポイントについて、さらに深めて理解するため、文献や資料の提示されたことに基づき予め調べておくこと。

●成績評価方法・基準

授業への意欲、発表、質問、コメント(30%)、そしてレポート等(70%)により評価する。

●テキスト(必携)

事前に文献や資料を配布予定

●参考文献/その他

随時、その文献を提示する。

●履修上の注意

分担発表し、質疑に応答、レポートは論文記述をとること。